

目次

【論説】

「第3回閣僚級世界患者安全サミット」を終えて

- ・患者安全における患者・家族・地域社会の積極的参加は世界の常識
- ・医療の質改善はUHC（Universal Health Coverage）と不可分
- ・次の課題は地域のプライマリ・ケアにおける患者安全と医療の質改善…………… 251

小泉 俊三

医療の質・安全学会誌編集委員長

【原著】

精神科看護師の感情労働とコミュニケーションスキルの関連…………… 255

精神科看護師の感情労働とコミュニケーションスキルの関連を検討した結果、感情労働の遂行には、コミュニケーションスキル向上を図るプログラム開発の必要性が示唆された。

前原 宏美¹⁾ 前原 潤一²⁾

1) 西九州大学看護学部

2) 済生会熊本病院 救急総合診療センター

【原著】

個人の電子機器利用による病棟マニュアル閲覧回数の変化…………… 267

個人電子機器でマニュアルを閲覧可能とし効果を検証した。その結果、アクセシビリティ向上により閲覧回数は増加し、マニュアル遵守指示によりインシデント数は減少した。

程島 健太¹⁾ 土屋 守克²⁾ 山田 享介¹⁾ 今大和¹⁾ 石川 直樹¹⁾

1) 埼玉医科大学総合医療センター 看護部

2) 日本医療科学大学 保健医療学部 看護学科

【報告】

産科医療補償制度における原因分析報告書の検討…………… 275

産科医療補償制度の原因分析報告書がWHOドラフトガイドラインで示す「非懲罰性」「秘匿性」に配慮されているか、また医学的評価の判断基準に一貫性があるか検討した。

吉野 真美 岡 耕平 木内 淳子

滋慶医療科学大学院大学医療安全管理学研究科

【世界サミット報告】

第3回 閣僚級世界患者安全サミット概要…………… 285

後 信

(公財) 日本医療機能評価機構／九州大学病院医療安全管理部

【新着情報】

医療安全シンポジウム「宇宙の安全を医療の安全へ」

宇宙の安全管理手法を医療の安全管理へ応用した－重大転倒転落事故を防止するために－・・・ 295

高梨 典子¹⁾ 高橋 晋平²⁾ 上森 規光³⁾ 村井 正⁴⁾ 本間 覚⁵⁾

- 1) 前 筑波大学附属病院 臨床医療管理部
- 2) JAXA 有人宇宙技術部門 有人システム安全・ミッション保証室
- 3) 同 事業推進部
- 4) 前 宇宙飛行士運用技術ユニット 宇宙医学生物学研究グループ
- 5) 筑波大学附属病院 臨床医療管理部

【学術集会報告】

第12回医療の質・安全学会 学術集会 シンポジウム

病院に労基署が来た!? 302

井部 俊子 奥 裕美 佐々木 菜名代 相馬 孝博 古川 裕之
保坂 隆 村上 剛久

医療の質・安全の観点から見た業務体制と業務環境の在り方ワーキンググループ

【書評】

ヘルスサービスリサーチ入門 生活と調和した医療のために

田宮菜奈子, 小林廉毅 (編著)..... 311

評者・杉山 雄大

国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター医療政策研究室
筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野・ヘルスサービス開発研究センター
東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

【教育・研究機関紹介】

ISQua フェロシップ・プログラムについて..... 313

後 信

国際医療の質学会 理事 教育委員会委員長／(公財)日本医療機能評価機構 執行业理事／九州大学病院 医療安全管理部 教授・部長

【学会・研究会案内】

第13回 医療の質・安全学会 学術集会 317

【資料】

資料1 医療事故調査制度の現況報告 (2018年6月)..... 320

資料2 第3回 閣僚級世界患者安全サミット関連資料 (続き)..... 322

一般社団法人 医療の質・安全学会 定款 333

一般社団法人 医療の質・安全学会 入会のご案内 339

「医療の質・安全学会誌」投稿規程 342

「医療の質・安全学会誌」執筆要項 352

「医療の質・安全学会誌」定期購読のご案内 357

編集後記 359